

南アフリカ共和国		首都 プレトリア
 <p>多種多様な人種・民族が一緒にになって前進するというイメージを表している。</p> <p>1910 「南アフリカ連邦」設立 1961 英連邦から脱退し、共和制へ移行 国連加盟：1945/11/7 政体：共和制</p>	国土	面積 122 万 1,000 km ² (日本の約 3.2倍) アフリカ最南端に位置し、国土の大部分は標高 1,200m の高原台地である。東部と南部の海岸は台地から急崖となって海へ落ち込んでいる。西部には小さな海岸平野がある。北西部にはカラハリ砂漠が広がり、南東部には標高 3,000m を越えるドラゲンスバーグ山脈が走っている。主要河川はオレンジ川とリンポポ川である。
	人口	4,740 万人
	言語	英語、アフリカーンス語、ズールー語、ソト語などの計 11 が公用語
	通貨	ランド
	気候	西部は温帯の乾燥気候、南部は地中海性気候東部は西岸海洋性気候、内陸部はサバナ気候である。寒流の影響で緯度の割に気温は低い。
	民族	バンツー系諸族（コーサ族・ズールー族・ソト族）68%、ヨーロッパ系（アフリカーナ、イギリス系）18%、カラード（混血）11%、インド系 3%
	宗教	キリスト教 68%、原始宗教 28%、イスラム教 2%、ヒンズー教 2%
教育制度の概要	学校体系	・9つの州があり、その州ごとに教育を管轄している。 ・初等教育（プライマリースクール）7年（7~13歳）、中等教育（ハイスクール）5年（14~18歳）中等教育修了後は専門学校、短大、大学がある。
	義務教育	・義務教育の期間は初等教育の期間の7年および中等教育5年のうちの3年（グレード8~10）を加えた10年間である。 ・授業料は地域及び学校ごとに異なる。学校の運営委員会が入学金、授業料を決める。その他、特別な行事の費用や教材費がかかる。
	日本と比較した教育課程上の特徴	・州によって、公立・私立によって異なる。 ・学校年度は1月から11月である。 ・3学期制と4学期制がある。 ・授業の言語は地方によって違うが、英語、アフリカーンス語を使っているところがほとんどである。

	義務教育後の教育	・中等教育の最終学年（グレード 12）の最後にはマトリックと呼ばれる年 1 回の国家試験が 1 ヶ月に渡り、教科ごとに実施されるが、この試験に合格すると大学入学の資格を得ることになる。
	就学前教育	・ナーサリースクールと呼ばれる幼稚園(4~6 歳)とプレイスクールと呼ばれる保育園(3~6 歳)があり、義務ではない。
学校生活	保護者の授業参観、保護者会、PTA	・授業料は徴収されるが地域学校によって異なる。学校の運営委員会が入学金や授業料を決める。

＜参考資料＞

- ・世界の国々 外務省
- ・諸外国の学校情報 外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑 平凡社
- ・世界の国々 アトラス